⑤　登録データを共有し、重複するデータ入力を要求しない効率的なシステムであること。
⑥　システム全体として、運用保守が効率的に行えるものであり、特に、運用保守の工程で、機能のバージョンアップ等のサポートを得られ、機能の陳腐化を避ける工夫がなされていること。
⑦　極力デファクト・スタンダード（事実上の業界標準）となった技術を活用すること。
⑧　ユーザ管理機能は、要求システム及びすべてのサブシステムで共通とし、ユーザ名・パスワードと生体認証を兼ね備えたシステムであること。不正なアクセスを防止し、情報漏洩に対し十分な防止策がとられていること。
⑨　原則として全ての診療情報、医用画像情報をデジタルデータとして管理し、端末から閲覧できる機能を備えること。
⑩　予約・外来・入院・退院・通院等の患者スケジュールを地域連携も含め経時的・統合的に管理できる機能を備えること。
⑪　患者情報が一覧でき、必要な情報を直ぐに探し出し閲覧できる機能を備えること。
⑫　禁忌情報等の見逃しを防ぎ、適切な指示を誘導する機能を備えること。また、研修医の指示に対する上級医師の承認機能（承認漏れのチェック機能を含む）を備え、間違いなく指示通りの医療行為が実施されるよう補助する機能を実現し、医療安全に寄与するものであること。
⑬　データ交換を必要とする既存のシステム及び医療機器と接続し、必要なデータ連携ができる機能を備えること。
⑭　セキュリティを確保した上で、簡単な操作で蓄積された診療情報を分析・集計できる機能を備え、臨床評価、臨床研究に寄与するものであること。特に、クオリティインディケータ（ＱＩ）の抽出に関連して、電子カルテシステム上で管理されるデータのみならず、必要な部門システムからも必要なデータを一体的に統合管理し、データウェアハウス（ＤＷＨ）として運用可能な状態にすること。また、要求システムの機能の開発・導入のみならず、実際に本学職員がＱＩの抽出が可能となるよう、抽出用テンプレートの作成や操作研修等を行うこと。
⑮　ユーザ個々がデータを保存できるサーバ機能を有し、病院全職員に対してユーザのスケジュール管理・連絡管理等が可能なユーザ用ポータルサイトを構築できること。
⑯　院内の医用物品を統合的に管理する機能を備え、医事会計、財務会計、管理会計システムと連携して、経営管理指標の算出を可能とする機能を備えていること。
⑰　請求漏れ等を防止し、正しく医事請求ができるように支援する機能を備え、発生源で登録されたデータからほぼ自動で医事会計計算ができる機能を備えていること。
⑱　ほぼ無停止で運用可能なシステムであること。主たるシステムが停止した場合にも、補助システムで診療データの閲覧を可能とする機能を備えていること。
⑲　要求システム及びそれを構成する機器は、現行のネットワークに接続し安定的に稼働すること。また、設計・機器更新・テスト・リハーサル等の各工程において適切に管理監督を行うこと。
⑳　システム全体として、外部からの不正侵入を防ぎ、ウイルスの侵入に対し十分な防止策がとられていること。
㉑　要求システム全体の保守管理及び本学職員の操作訓練を行うこと。
㉒　本学の指示により、要求システム上で必要となるデータ種、データ構造、コード体系等の情報を提供すること。
㉓　現有病院情報システムに蓄積された診療データ及びマスタデータについては、本学がデータを抽出し提供する。かかる抽出データを要求システム上に移行し利用可能とすること。
㉔　システム全体として省エネルギーや環境負荷に配慮していること。
㉕　今後、要求システムからデータ移行が必要となる場合には、本学の指示に従って要求システムからデータを抽出し提供すること。
㉖　機器については故障率が低く安定稼働する機器であること。またレスポンスが早くスムーズに操作できること。
㉗　プリンタなど消耗品が発生する機器についてはランニングコストの削減効果が高いものであること。
㉘　ＶＤＩ（Virtual Desktop Infrastructure）もしくは他の方法で安全なインターネット接続環境を構築すること。
㉙　患者サービスの向上につながる、見やすい外来患者待ち案内システム及び呼び出しシステムを導入すること。
㉚　診療支援、医療安全の向上のために必要な情報を利用者へプッシュ型で通知する機能を備えていること。

2　資料及びコメントの提供方法　上記１⑵の物品に関する一般的な参考資料及び同⑸の要求要件等に関するコメント並びに提供可能なライブラリーに関する資料等の提供を招請する。
⑴　資料等の提供期限　平成30年12月７日17時00分（郵送の場合は必着のこと。）
⑵　提供先　〒520―2192 大津市瀬田月輪町　滋賀医科大学会計課病院経営企画室病院調達係　大知　純子　電話077―548―2039
3　説明書の交付　本公表に基づき応募する供給者に対して導入説明書を交付する。
⑴　交付期間　平成30年10月22日から平成30年12月７日まで。
⑵　交付場所　上記２⑵に同じ。
4　説明会の開催　本公表に基づく導入説明会を開催する。
⑴　開催日時　平成30年10月29日15時00分
⑵　開催場所　滋賀医科大学医学部附属病院第二会議室
5　その他　この導入計画の詳細は導入説明書による。なお、本公表内容は予定であり、変更することがあり得る。
6　Summary
⑴　Classification of the products to be procured : 14
⑵　Nature and quantity of the products to be rent : Integrated Hospital information system 1 Set
⑶　Type of the procurement : Rent
⑷　Basic requirements of the procurement :
①　The requested system must support the total hospital operation and contribute to the smooth management of the hospital. The requested system must support the total hospital operation and contribute to the smooth management of the hospital. The system and the components must consist the same list as the current ones, capable of coordinating with each other and of quickly transferring all data from the current system.
②　The system must have functions to record and output medical information prescribed by our hospital, guaranteed legally and observed by the guidelines.
③　The electrical medical record system should be package based and basically be designed and built without much customize. And other systems including section systems should have many credentials at university hospitals and／or large hospitals.
④　The system must have the function of describing medical records by easy operations as one wants to do. It should provide easily comprehensible operationality and quick response, enabling users to operate it uninterruptedly.
⑤　The system must be an efficient system which avoids redundant data entry by sharing whole data inside the system.
⑥　All system must be easily operated, can be efficiently maintained. Especially, the contractor can provide version up support to the hospital and the system function can be kept up to date.
⑦　Basically the system is composed of de facto standard technologies.
⑧　The system must have the integrated user administration function which is common to the whole systems including the subsystems. The user administration system should use usernames, passwords and biometric measurements simultaneously to prevent illegal accesses and the information leak.